

令和6年9月8日 東京都日野市での被爆アオギリ二世の植樹に対する 平和首長会議会長 広島市 松井一實市長 ビデオメッセージ

皆様、こんにちは。平和首長会議会長を務めている広島市長の松井一實です。

本日は、「被爆アオギリ二世の植樹」を行っていただけるということで、大変嬉しく思います。また、この場をお借りして、平和首長会議東京都多摩地域平和ネットワークの副会長として、多摩地域における平和文化の振興に多大な貢献を頂いている大坪市長に心から感謝を申し上げます。

79年前、広島に投下された一発の原子爆弾によって、街は一瞬にして破壊し尽くされ、多くの尊い命が奪われました。そして、辛うじて生き残った人々も、心身に悪影響を及ぼす放射線により、今なお生活面で様々な苦しみを抱えています。

今、被爆地を訪れる多くの人々は、戦争や原爆被害の悲惨さや愚かさを身近なこと、自分事と実感し、あらゆる暴力は否定されるべきものであることを強く認識しています。

この夏休みに、平和派遣事業で広島、長崎、沖縄を訪れた生徒の皆さんも、被爆の実相や戦争の惨禍に触れ、平和の尊さについて思いをはせていただけたのではないのでしょうか。

本日皆様に、被爆の惨禍に遭いながらも再び芽吹いた「被爆アオギリ」の二世の苗木を植樹していただくことは、誠に意義深く、その取組に深く敬意を表します。核兵器廃絶と世界恒久平和の実現という願いを込めて、大きく、大きく育ててください。

皆さんが植樹した被爆アオギリ二世が、皆さんに生きる勇気と希望を与える存在になることを期待しています。